
政宗様は恋人

侍スピリッツ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

政宗様は恋人

【Nコード】

N8083Q

【作者名】

侍スピリッツ

【あらすじ】

自分の人生がつまらなさと感じる海沢 百合花に運命的な出会い？

1話 独眼竜伊達政宗

はあーつまない生活、つまない人生…

「なんだよクソ親父、そんなに出て行って言うなら出ってあげるわよ。」

彼女の名前は海沢 百合花 読み方はうみざわ ゆりかだ。運動神経抜群で、都内一の天才。だがそんなある日、親と喧嘩をして家を出て行くことになる。この物語は彼女のつまらない生活が一変するところを描いている。

新しい部屋、でもお金が無かったのでそれ程広くない。家具などでいっぱいいっぱいだ。

チリリリーチリリリー目覚ましが鳴った

「んゝ、もう朝かひさびさに学校いこつかな。」

30分遅れだったすると担任が

「海沢さん、1ヶ月もやすんでどうしたの、大丈夫？」

「別に。」

「別にじゃなくてどうした…

「ウザイ。」

やっぱ帰ろ、帰り道3人のチンピラが

「よゝ姉ちゃん俺らと遊ばない？」

「死ね。」

「んだとコラやつちまえ」

その場にあつた棒で一人チンピラ気絶させた。

実は彼女は剣道三段の腕前である

「へへへ棒を奪ったぜこれ以上調子に乗れねえな。」

クソ何かあれば…

ギョインバリバリドーン

何だあの人？そこに居たのははかまをはきいかにも武士らしい格好をした人だイケメンだししかも、眼帯を右眼につけている。

「助けてくれませんか？」

「ん？女によつてたかつて恥じぬのか？」

「ウルセエ、そんな切れねエ刀なんかでびびるかよ！」

スパッ コンクリートを真つ二つにした。

チンピラはナイフ取り出して襲いかかってきた。

ドカッ

「安心しろ、峰うちのはずだ。」

「…一人死んでるわよ。」

「あーミスった。」

「それより助けてくれてありがと。」

「俺はただム力ついたから切っただけだ、じゃあな。」

「ちょ、ちよつと！」

しかし、何処かへ行つてしまった。

無愛想な奴なんなのよあの態度。

次の日にスーパーへ出かけると昨日のあいつが居た。

「なんだこの食べ物凍っているぞ。」

「アハハハすいません弟がほら行くよ。」

スーパーの外へ連れ出した。

「俺はお前の弟になったおぼえはない。」

「それはイイのとりあえず聞きたいこと山程あるから私の家きて。」

タクシーをつかまえ家についた。

「……………なるほど信じられないことばかりだけどまとめるところね。

あなたは戦国時代から来た伊達政宗なのね。」

「そういう事だ。しばらくここに泊めてもらつぞ。」

え、こんなイケメンと同居…

私の人生変わるかも？

1話 独眼竜伊達政宗（後書き）

どうも今回はじめて小説を書かせていただきました（´・`・´）
（ノ最初はファンタジーにしようとしていましたが恋愛ものにさせていただきました

今後書きますので応援よろしく願いいたします（v^| ^）

v

LOVEバトル？

チリリリーチリリリー目覚ました

「んゝ眠いわねもう一回寝よ………ってなんでこいつが私のベッドにいるのよおおゝ？。」

「ん、朝から騒々しいぞ。安心しろ貴様の身体などに興味はない。」
カツチーン

「いいわよ、私と勝負しなさい。」

「俺に剣で勝てるんでも？そのかわり俺が勝ったら命令をきいてもらうぞ。」

「じゃあ私が勝ったら1日私に付き合ってもらわよ。」

そして、川沿いの丘で木刀勝負は始まった。

「テリヤ、ドリヤ。」

「ははは、その程度でおれにかてるんでも。もらった！」

木刀は私の頭の0.5ミリぐらいの所でとまっている。

「ふっ、命令だ俺にこの街を案内しろ。」

それって…私の命令と同じじゃないかな？

「じゃあコンビ二に連れてってあげる。」

「おいっ貴様、俺の手に触れるでない！」

「イイじゃない、ほら行くよ。」

「ココよ…隠れて？」

「誰だ？あいつ？」

そこに居たのは眼鏡をかけ、髪型は七三分けのいかにも真面目君だった。

「あいつは、私の幼馴染みの神坂 剣兎」かみざか けんと「学校サボってるから会つと面倒なの。あつ、ばれた。」

「百合花ちゃん、学校来なよ。それより…」

「今日用事あるから、行こう政宗！」

「おい！その！政宗とかいったな、明日の午前0時川沿いの

丘にこい。」

言い返す間も無く百合花に引っ張られた。

「違うところこう。」

その後、アイス屋に行つて帰った。

「じゃあ私先寝るね。」

「でわ、俺も寝よう。」

「って、このド変態？なんでまた私ベッドにはいつてくるのよ！」

「これしかないでわ無いか！」

「なんで逆ギレ？仕方無い布団出すからそれで寝て！」

「最初からだしておけ。」

政宗は百合花が寝た事を確認して川沿いの丘へ向った。

LOVEバトル？（後書き）

いやゝ出版されるような作品書きたいですね。いい所、悪い所のご指摘お願いします

＼（＾Ｏ＾）／

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8083q/>

政宗様は恋人

2011年10月8日18時06分発行